

# 団地まちづくりニュース

特  
別  
号

～住宅団地活性化に向けたシンポジウムを開催しました～

令和2年2月7日発行

市では、若者から高齢者まで多様な世代が暮らす活力ある団地づくりを目指して、平成30年度からの約3年間で、具体的な取組みについて検討を進めています。

今回は特別号として、令和元年11月16日に開催した住宅団地活性化に向けたシンポジウムの概要についてご紹介いたします。

## 団地活性化に向けたシンポジウム

日時：11月16日(土)14時～18時

場所：サンエールかごしま

## シンポジウムのプログラム

# ～団地暮らしの魅力を “再発見”する!!～

## プログラム

### 第1部 講演会

団地の未来にむけた第一歩 –協働の場づくりの報告–

小山 雄資 氏（鹿児島大学大学院 理工学研究科建築学専攻 准教授）

団地再生 –住みこなせる町をつくること

大月 敏雄 氏（東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻 教授）

「ベッドタウン」が「里」にかわる時

大島 芳彦 氏（株式会社ブルースタジオ・クリエイティブディレクター・専務取締役、  
大阪工業大学建築学科 客員教授）

### 第2部 意見交換会



# ～団地暮らしの魅力



## 第1部 講演会



小山雄資 氏  
鹿児島大学大学院 理工学研究科  
建築学専攻 准教授

・住宅ストックの再生・再編に関する研究に取り組んでおり、鹿児島市「住宅団地の活性化に向けたワークショップ」では、市内の3つの団地でまちづくり活動を支援されています。

・ワークショップを通じて活動している状況をご報告いただき、活動を広げていくために、団地内での情報発掘・共有、団地間での意見交換や交流が大切であるとお話されました。



大月敏雄 氏  
東京大学大学院 工学系研究科  
建築学専攻 教授

・高校時代を鹿児島市で過ごされ、郊外団地などの住環境の変化や価値の向上に着目した研究に取り組んでおられます。  
・高齢化社会に対応するため、医療・看護・介護に注目が集まる一方、中心となる「住まい」の議論はほとんどなされてこなかったと問題提起され、各々の生活にあわせて住み替えるために賃貸住宅などの多様な住宅が必要で、住宅と地域をつなぐために、居場所と思える空間が必要だと説明されました。



大島芳彦 氏  
株式会社ブルースタジオ クリエ  
ティブディレクター・専務取締役、  
大阪工業大学建築学科 客員教授

・遊休不動産の再生流通活性化をテーマとしてリノベーション事業を始め、団地再生などのプロジェクトを手がけておられます。  
・急激な人口減少局面を迎え、生活も仕事のしかたも多様化しているなか、多様な世代が関係性をもって暮らすためにデザインを手がけた事例をご紹介いただき、建物をつくるだけでなく、まちの人的・文化的資源等を活かして新たな価値を生じさせることが大切だと説明されました。

130周年記念

に向けたシンポジウム

を“再発見”する!!～



## 第2部 意見交換会



まちづくりにあたり、行政職員に求めることは何か。

- ・どの課に異動しても、まちづくりに取り組んでいた職員をみたことがある
- ・まちづくりにはさまざまな観点があり、いろんな課をまたいで動き回ることの意味がある
- ・そのようなマルチな働き方も認められるようになってほしい

人口が減少していくなかで、リアルな「団地活性化」とはどのようなものか。

- ・高齢化そのものが問題ではなく、高齢期の暮らしと現状の空間やサービスとの間に齟齬が生じていることが問題
- ・活性化自体を目的にするのではなく、団地ごとに住んでいる方自身が方向性を考え、見つけていくプロセスが大切
- ・団地によっては衰退・縮小もありうる

地域で新しいことに取組もうとしたときに、住民の理解を得るにはどうすればよいか。

- ・すべての基本は対話である
- ・ある人がネガティブに捉えていることを、ポジティブに捉える人がいるように、いろんな認識があることを知ることの意味がある
- ・同じ空気を吸っている人の中に、どんな人がいるのかは知っておく、くらのところから始めるのが大切だ

団地活性化の旗振り役として、どのような立場の人が担うべきか。

- ・最初からみんなで取り組むことはできないので、まちづくりの初期においては、やりたい人がやりたいようにやるのがよい
- ・自分と価値観を同じくする人を見つけて取組むのが良い
- ・自分とは異なる人とも「共存」することが必要。そして一緒に取組めそうであれば「共生」を目指す

まちづくりには、ビジネス的な視点も必要なのではないか。

- ・小さくてもしっかりと収益構造をつくり、継続したほうが、魅力的なものも出てくる
- ・ボランティアな活動も必要だが、ビジネスというよりは生業として楽しみながらできるとよい
- ・小さく、いろいろな仕事を同時進行でやるのが大切だ

## ワークショップのご案内

### 鹿児島市 住宅団地の活性化に関するホームページ 「住宅団地の活性化に向けて」

鹿児島市の住宅団地の活性化に関する取組みやイベントの情報を掲載しています。  
過去のまちづくりニュースや、次回のワークショップ開催予定などもご覧いただけます。



### まちづくりニュース

団地活性化のために実施しているワークショップの開催結果を「まちづくりニュース」として発行しています。



### 次回ワークショップの開催

次回ワークショップの日程や場所などの「開催案内」を掲載しています。



### 住宅団地ワークショップのフェイスブック 「鹿児島市 住宅団地ワークショップ」

鹿児島大学小山研究室の学生等によって運営されているフェイスブックです。  
ワークショップの開催結果や大学生が行っているまち歩きの様子なども発信しています。



### ワークショップの案内・報告

次回ワークショップの開催案内や、実施したワークショップの報告等を投稿しています。

### 各団地での取組みを紹介

大学生が行っているまち歩きなどの取組みや団地で実際にまちづくりに取り組む方々をご紹介します。

- 鹿児島市 都市計画課（担当：井上、諏訪田、宮）  
 連絡先：099-216-1378 FAX：099-216-1398  
 メール：[toshikeikaku@city.kagoshima.lg.jp](mailto:toshikeikaku@city.kagoshima.lg.jp)

- ランドブレイン株式会社 鹿児島事務所（業務受託事業者）  
 連絡先：099-210-9091（担当：大脇、岩切）